

Press Release



2016年9月吉日

オリーブオイル関西国際商談専門見本市
会期：2016年10月18日～20日
会場：インテックス大阪
主催：一般財団法人 大阪国際経済振興センター

報道・業界関係者各位

- 国内外のオリーブ/オリーブオイル業界の権威が「特別セミナー」に登壇
- オリーブ栽培・オリーブオイル製造技術先進国のイノベーション、最新技術、最新プロジェクト、最新事例を披露
- 「日本におけるオリーブ産業の発展に向けて」というテーマでパネルディスカッションを開催

(大阪、日本)；2016年10月18日～20日に西日本最大の国際見本市会場、インテックス大阪で初開催するオリーブビジネスの国際商談専門見本市「オリーブオイル関西」では、ビジターガイドテイティングツアーやオリーブ盆栽展等、多くの併催特別企画と共に国内外の著名な業界関係者を招聘し、特別セミナーを実施する。特に、特別セミナーに登壇する国内外のオリーブ/オリーブオイル市場を牽引する関係者の参加に注目が集まっている。

「これまでも述べてきたが、初開催前にも関わらず国内外の業界関係者より多くの評判と期待を感じている。例えば、これから紹介する特別セミナーの講師として招聘に成功した世界のオリーブ/オリーブオイル業界の権威および公的機関の関係者は、今まで日本国内では知り得なかったオリーブ栽培・オリーブオイル製造技術に関する多くの最新事例、イノベーション、最新技術を日本のプロフェッショナルビジターや業界関係者のために惜しみなく披露するであろう。そして、彼らの発表によって日本のオリーブ栽培市場、オリーブオイル製造技術、そして消費市場の各分野に大いに刺激を与え、日本の業界と消費市場を新たなステージへレベルアップさせてくれる筈である。」と、当見本市を担当する一般財団法人(以下 一財)大阪国際経済振興センター企画部ディレクターの樋渡知博(以下、樋渡)は述べた。

【特別セミナー】



10月18日(火) 12:15～13:30

【リッカルド・グッチ(イタリア) -ピサ大学 農業・食糧・環境科学部
教授/イタリア国立オリーブ/オリーブオイルアカデミー総長】

リッカルド・グッチ教授(以下、グッチ教授)は、2002年よりピサ大学

オリーブ栽培/オリーブオイル品質管理修士課程学部長の職に就いている。また、2014年より国立イタリアオリーブ/オリーブオイルアカデミーの総長でもあり、イタリアオリーブ/オリーブオイル業界の重鎮である。オリーブ栽培に特化した樹木マネジメントおよび樹木生理学の研究を専門とするグッチ教授は、オリーブ/オリーブオイルを歴史と栽培の繋がりにから捉える「近年20年間におけるオリーブ栽培の進化～設備の種類から栽培技術とオイルの品質まで」というテーマでその卓越した研究内容を披露する。



10月18日(火) 13:45~15:00

【ホセ・マヌエル・バホ・プラドス(スペイン・アンダルシア)
-スペイン原産地呼称保護 D.O.P バエナ管理委員会 事務局長】

ホセ・マヌエル・バホ・プラドス氏(以下、バホ・プラドス氏)は、スペイン・オリーブオイル原産地保護呼称(D.O.P)バエナ地区管理委員会の事務局長であり、スペイン国内で26地区に及びD.O.P(原産地保護呼称)全てを統括する立場にある。またオリーブオイル鑑定士として登録もしており、エクストラ・ヴァージンオリーブオイルの品質とマーケティングにおける業界のエキスパートである。バホ・プラドス氏は、「EUにおける品質管理保証システムとしてのオリーブオイル原産地呼称保護(D.O.P)制度について」プレゼンテーションし、オリーブオイルを制度システムの視点から捉え、「D.O.Pの価値を如何にして維持向上させるのか」を発表する。

10月19日(水) 12:15~13:30

【マウリッツィオ・セルヴィリ(イタリア)-ペルージャ大学 食品環境農業科学学科・食品化学技術 教授/イタリア国立オリーブ/オリーブオイルアカデミー 副総長】



マウリッツィオ・セルヴィリ教授(以下、セルヴィリ教授)は、ペルージャ大学農業研究所、及び国立ストラスクライド大学(スコットランド・グラスゴー)のバイオサイエンス、バイオテクノロジー学科、フードサイエンス研究所にて、経験を積んできた国際レベルの研究者である。また、セルヴィリ教授はサイエンスの視点からオリーブおよびオリーブオイルを捉える業界の権威である。セルヴィリ教授は、「生物多様性とプロセスイノベーションの視点から捉えたエクストラ・ヴァージンオリーブオイルの品質」というテーマで発表する。

10月19日(水) 13:45~15:00

【ホセ・マリア・ペンコ・ヴァレンズエラ(スペイン・アンダルシア)
-スペインオリーブ市町村協会 テクニカルディレクター】



ホセ・マリア・ペンコ・ヴァレンズエラ氏(以下、ヴァレンズエラ氏)は、コルドバ大学のオリーブオイル製造技術およびオリーブ栽培の修士課程を卒業、またセビージャのサンテルモ国際研究院でエグゼクティブMBAを取得している。ヴァレンズエラ氏は、スペイン国内の170に及び市町村で構成されるオリーブ市町村協会にてテクニカルディレクターとして従事、そして同時に市場調査の責任者でもある。また、ヴァレ

ソズエラ氏はEU圏内で多くのプロジェクトに参画している。セミナーでは「スペインにおけるオリーブ栽培技術～最新技術と様々な栽培システムおよびコストマネジメント」というテーマでプレゼンテーションし、スペインにおけるオリーブ栽培の現状他、オリーブ市町村協会の活動内容も発表する。オリーブに携わる市町村間の連携や街づくりに関する内容は、特に日本の地方自治体関係者にとって大変興味深い内容であり、今後の活動に多くのヒントを与えてくれる筈である。



10月19日(水) 15:15~16:15

【鈴木俊久(日本)-日清オイリオグループ(株) 食品事業本部 商品戦略部/オリーブオイルテイスティング・パネルスーパーバイザー】

鈴木俊久氏(以下、鈴木氏)は、2002年11月に日本ではじめて国際オリーブオイル連盟(International Olive Oil Council: IOC)からオリーブ・オイル・テイスティング・パネルのカンパニーパネルとして認定を受けた日本を代表する業界のスペシャリストである。また、日清オイリオのオリーブオイル商品、「BOSCO」の品質管理責任者でもある。鈴木氏は、「日本の食用油マーケットに適したオリーブオイルとは-オリーブオイルを日本の食用油市場の特性に適応した商品とするために留意すべき製品の仕様や品質管理」について発表し、商品管理マネジメントの視点からオリーブオイルを検証・説明する。



10月20日(木) 12:00~13:15

【長友姫世(日本)-(一社)日本オリーブオイルテイスター協会 代表理事/イタリア政府公認オリーブオイル鑑定士】

長友姫世氏(以下、長友氏)は、外国人では難しいとされるイタリア政府農林食糧政策省公認のオリーブオイルの鑑定士の資格を取得し、正式登録をしている。日本国内在住で唯一公式鑑定士資格取得者であり、イタリア、スペイン、アメリカ、ニュージーランド等のオリーブオイル主要国で開催された国際オリーブオイルコンテストにてアジア人初の鑑定審査員を歴任している。そして、国内外の生産者、研究機関、大学等と共同でオリーブの栽培やオリーブオイルの研究をサポートするコンサルタントとしても活躍している。長友氏は、「オリーブオイルの官能評価とオリーブオイルテイスター(鑑定士)の役割」というテーマで自身における鑑定士としての視点と経験にもとづき発表する。

【パネルディスカッション】

開催最終日の10月20日(木) 13:30~14:45に、「日本におけるオリーブ産業の発展に向けて」というテーマでパネルディスカッションを開催する。長友姫世氏をモデレーターとして、日清オイリオグループ(株)の鈴木俊久氏、国内の出展者を代表して香川県・小豆島の栽培生産者でもある高尾農園の高尾豊弘社長、その他業界関係者がパネリストとして登壇し、国内におけるオリーブ栽培/オリーブオイル業界の現状における問題点、課題や将来の方向性について議論する予定である。

【その他の特別セミナー】

特別セミナーステージ隣のライブクッキングセミナー会場では、スペインのエクストラ・ヴァージンオリーブオイルをフィーチャーしたテイ스팅セミナーが2本行われる。

10月19日(水) 15:45~16:30

オリーブオイルテイ스팅セミナー「黄金のしずく ～スペイン ラ・マンチャからの贈り物」

主催：カスティーリャ・ラ・マンチャ州政府貿易振興会

現地のオリーブオイル生産者3社を引き連れ、共同出展するスペイン国内生産第2位の州であるカスティーリャ・ラ・マンチャ州政府貿易振興会がセミナーを主催する。ワイングラスを使用してテイ스팅を行うセミナーで、エクストラ・ヴァージンオリーブオイルの香りと味を同時に楽しむ内容となる。

10月20日(木) 14:30~15:15

スペイン・オリーブオイルセミナー「国際品質ラベル(SIQEV)について」

主催：QVEXTRA 国際オリーブ協会

会員企業である生産者に独自の厳しい基準を設けて品質管理を行っている協会の代表理事によるプレゼンテーションを行う。

「この度、『オリーブオイル関西』特別協力団体である(一社)日本オリーブオイルテイスター協会の協力を得、初開催からグローバル市場を牽引し、オリーブ/オリーブオイル業界をリードする著名な関係者の方々を、特別セミナーの講師として招聘する事ができた。これは、『オリーブオイル関西』が世界中のオリーブ/オリーブオイル業界にとって大きなインパクトを与え、注目に値する国際専門見本市として期待されている事を意味する。我々は、この毎年開催するこの国際専門見本市を更に充実させ、国内および海外オリーブオイル業界の期待に応えるべく見本市のクオリティと価値を高めなければならない。」と、樋渡は述べた。

= End =

*インテックス大阪について

大阪を中心とする関西圏の経済発展と国際化を目的として1985年に設立され、今年(2016年)で開業31周年を迎えた。現在では、屋内総展示面積72,978㎡、屋外展示面積2,900㎡計9つの展示ホール、国際会議場、多数のミーティングルームを完備した国内で3番目且つ西日本最大の国際見本市会場である。開業以来、見本市・展示会を中心に3,200件余りの多種多様なイベントが開催された。また、これまで世界各国より延べ1億500万人を超えるビジターが来訪した。

*貴紙で当リリースを記事としてお取り上げいただければ大変幸甚に存じます。また、貴誌紙にご掲載くださいました際は、下記担当者までご送付いただきますようお願い申し上げます。

【本件に関するお問い合わせ】

一般財団法人 大阪国際経済振興センター



一般財団法人大阪国際経済振興センター Osaka International Business Promotion Center

〒559-0034 大阪市住之江区南港北 1-5-102 TEL: 81-6-6612-8800 FAX: 81-6-6612-8686

1-5-102 Nanko-Kita Suminoe-ku, Osaka 559-0034, JAPAN

URL: <http://www.intex-osaka.com>

オリーブオイル関西2016事務局

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102

TEL: 06-6612-8863 / FAX: 06-6612-8686

Email: info@olive-kansai.com

www.olive-kansai.com

※取材のお問い合わせは、担当までご連絡お願いいたします

「本書はこれまでに名刺交換をさせていただいた方、弊財団からの電話でご回答いただいた方、広く一般に公開もしくは提供されている情報を通して弊財団顧客情報に登録されている方に発送させて頂いております。なお、個人情報の取扱いについては弊財団部ホームページ「プライバシーポリシー」をご覧ください。」